

1. 日時 令和5年6月14日（水曜日）5時限
2. 学級 第1学年6組
3. 単元 第2部 近代化と私たち 第2章 欧米諸国における近代化
4. 産業革命で変わる社会（p.39-40）
4. 使用教科書 「明解歴史総合」（帝国書院）

5. 単元設定の理由

（1）教材観

本単元では、産業革命の背景、展開、社会への影響と変化を学習し、産業革命は近代社会の形成にどのような影響を与えたのかを理解させる。これまで学習した市民革命と同時に進んだ産業革命の背景を知り、その関連に気づかせる。また、産業革命の影響として、生産体制の変化が資本主義を生み、国民間に格差や上下関係が生じて社会主義という思想が生まれるといった経済体制の変化に気づかせることを大切にしたい。産業革命で貿易のための商品が大量生産されるようになり、欧米が世界をひとつの市場として貿易を拡大させていく基盤となる単元である。

（2）生徒観

本単元に関して、機械を利用し、モノ作りが進化したという漠然とした知識を持っている生徒が多い一方で、産業革命の背景や社会への影響については理解が乏しい様子である。

学級としては、学習に意欲的で、明るく活発な雰囲気である。発問にも自分なりの言葉で解答しようと努力する生徒が多い。一方で、個人ワークになると不安や自信のなさからか取り組むまでに時間を要したり、正解を書こうとして自分の意見を書き記すことに抵抗を感じたりしている様子も多く見受けられる。そのため、ペアワークなど他者との対話を通して自信をつけながら学習を進めると、多様な意見に触れられるだけでなく、安心感が増し、高い学習効果が見込まれる。

（3）方法観

生徒は穴埋めプリントで要点をおさえ、別途ワークシートで知識を活かして思考する。劣悪な労働環境などは、絵や写真から、生徒自らが実態を把握できるように支援する。近所の写真を用いて、地域と関連付ける場面も設ける。テーマ史であっても流れを理解させるため、単純な部分も生徒に定期的に問いかけ、納得を得ながら進める。資料も、イギリスの輸出入品の推移グラフを同年代で比較できるように並べ、その変化に生徒自らが気づけるようにするなど流れを意識する。また、産業革命の最大の変化といえる機械の導入について、人力とは違うメリットを考えたとうえで、メリット以外の側面にも目を向けさせる。そこで得た機械と手工業者の関係に関する気づきを、現代のロボット（AI）と人間の関係に置き換えて、未来を担う者としてどうしていくべきか検討させる。

6. 指導目標

- （1）各革命の背景、展開、その後の対応といった変化を、各出来事のつながりを意識して理解できる。
- （2）国境を越えて影響し合っていく様子を理解できる。
- （3）風刺画や、現在も地域に残る遺構など、さまざまな史料を用いて多角的に歴史を考察できる。

7. 指導計画（計5時間）

- | | | |
|----------|--------------------|------|
| 第1次（1時間） | イギリス革命とアメリカの独立 | |
| 第2次（1時間） | フランス革命 ヨーロッパ近代の幕開け | |
| 第3次（1時間） | フランス革命の影響と国民意識の芽生え | |
| 第4次（1時間） | 産業革命で変わる社会 | … 本時 |
| 第5次（1時間） | イギリスの繁栄と国際分業体制 | |

8. 本時の目標

- (1) 産業革命が起こった背景や革命の流れを理解できる。
- (2) 産業革命によって生じた社会の変化やそれに伴う問題点に気づくことができる。
- (3) 機械がもたらしたメリット、デメリットの知識を、現代に照らし合わせて課題に向き合うことができる。


9. 準備

指導者 : 教科書、穴埋めプリント、ワークシート、パソコン、プロジェクター、ホワイトボード、マーカー
生徒 : 教科書、穴埋めプリント、ワークシート

10. 評価基準

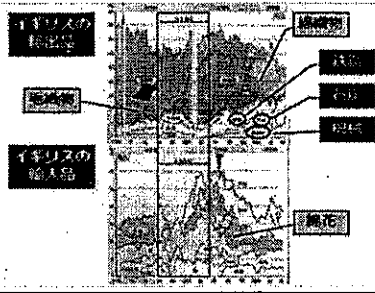
(a)知識・技能	(b)思考力・判断力・表現力	(c)学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の背景、理由、機械の開発・発展、社会への影響を、ストーリーとして理解できているか ・機械のメリット、デメリットの両面を検討できているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフから、産業の変化を読み取れるか ・機械と手工業者の関係を現代のロボットと人間に置き換えて、共存の手立てを考えられるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いに対して自分の意見を持っているか ・主体的に他者と意見を共有しようとしているか

11. 学習指導過程

主たる学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
<p>0 ●サリーの写真を見る ＊特徴：涼しそう、軽そう、華やか</p> <p>・「どこの国の衣装？」 → インド</p> <p>・「貿易に来てサリーに感激し、欲しかったインドの支配国は？」 → イギリス ⇒イギリスが、綿織物の大量生産を開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服の素材を説明。自分の服を触り、綿織物を肌で感じる。 ・復習として解答を促す ・綿織物を自国生産したいという欲を実現できたと理解 	<p>(c) 学びに向かう力・人間性等</p> <p>(a) 知識・技能</p> <p>(a) 知識・技能</p>
<p>目標：産業革命は、近代社会の形成にどのような役割を果たしただろうか。</p>		
<p>5 <u>1. 産業革命とその背景</u> 産業革命とは、生産技術の急激な革新と、それに伴う社会・経済の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何の生産 → 綿織物など ・生産技術 → 機械での大量生産 ・社会・経済の変化が伴っている <p>●産業革命に必要な3要素</p> <p>①資本（お金） 毛織物業の発達による貿易で資本を貯蓄 「資本は何に使う？」→工場や機械製造</p> <p>②労働力 ノーフォーク農法の導入に伴う困り込み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書の固い表現をあえて用いて、以後かみ砕いた表現で説明をしても原点に戻れるようにする ・産業革命は、機械で大量生産を始めたと念押しし、Q1に繋げる ・生産効率の向上、生産量の増加もたらした点にも触れる（農業革命） →人口の増加にも対応できる 	<p>(b) 思考力・判断力・表現力</p>

<p>10</p>	<p>・「土地も仕事もない小作農はどうする？」 → 仕事を探す、都市へ出る →労働力として資本家が雇う</p> <p>③植民地 蘭・仏との植民地戦争に勝利して獲得</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q1, 産業革命において、植民地はなぜ必要なのだろう？ →原料の栽培地、余剰製品の輸出地 [その他想定される回答] 工場の建設地、労働力</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q1 の手順</p> <p>1, 個人でワークシート記入 (1分)</p> <p>2, ペアで意見共有 (2分)</p> <p>3, 全体で共有、解説 (3分)</p> </div>	<p>(b) 思考力・判断力・表現力</p> <p>(b) 思考力・判断力・表現力</p>
<p>15</p> <p>20</p>	<p>2. 機械の発明・進化と、動力・交通革命</p> <p>●織機（飛び杼）の開発 従来の4倍の速さで生産可能に ・「足りなくなるものは？」 → 糸</p> <p>●紡績機の開発 足りなくなった糸を作る技術を開発</p> <p>●織機の進化 ワットが改良した蒸気機関の技術を活用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q2, 製品を人力ではなく機械で作るメリットは何だろう？ (簡条書き) →効率が良い、早い、簡単、誰でもモノ作りができる。ミスが少ない、同質性を維持、大量生産できる、コスト削減、少人数で作れる、疲れにくい、継続 (一文で表現：想定される回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量生産で、コストが抑えられる ・人力ではないから疲れにくい、継続 ・手作より簡単だから誰でもできる </div> <p>●交通革命 蒸気船、蒸気機関車などの誕生 ・水上交通：運河 →兵庫運河の写真を表示 地図から人工物だと気づかせる</p> <p>●産業革命による貿易の変化 ・年表から産業革命は、1760年代～1830年代ごろがピークであると気づく</p>	<p>・織機→紡績機→織機の順で進歩した推移を理解</p> <p>・「紡績」が共に糸へんであることから、糸に関連していると気づかせる</p> <p>・蒸気機関の上下運動を回転に利用</p> <p>・イギリスは燃料となる石炭が豊富</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q2 の手順</p> <p>1, 個人でワークシート記入 (2分)</p> <p>2, ペアで意見共有 (2分)</p> <p>3, 全体で共有、解説 (3分)</p> <p>(一文で表現)</p> <p>個人でワークシート記入 (2分)</p> <p>途中で構文をヒントとして板書</p> </div> <p>・似た意見をグループピングしながら板書し、視覚的に整理しやすく</p> <p>・蒸気機関を蒸気船、蒸気機関車に応用 (蒸気船や運河の使用例で、機械に使う石炭の運搬を挙げる)</p> <p>・具体的に神戸南イオンモールの名前を出し、身近な歴史に気づかせる</p>	<p>(a) 知識・技能</p> <p>(a) 知識・技能</p> <p>(b) 思考力・判断力・表現力</p> <p>(c) 学びに向かう力・人間性等</p>

グラフ 産業革命ピーク時のイギリスの輸出入品の増減を読み解く



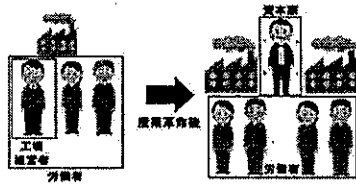
[輸出] 綿織物、鉄鋼、石炭、機械 増加
毛織物 減少 (綿織物と入れ替え)
[輸入] 綿花 増加

- ・該当時期を囲って該当時期示す
- ・毛織物が減少している期間に、綿織物が増加していると感じさせる
- ・産業革命の中心産業として、綿織物のほかに、鉄鋼の存在があったと感じさせる
- ・機械の輸出で、各国に産業革命が広がったと感じさせる (次はフランス、日本は1880年代ごろから)
- ・石炭は、運河で輸送することが多かったと先ほどの内容を振り返る

(b) 思考力・判断力・表現力

3. 産業革命の影響

●資本主義の誕生



資本家：選挙権が与えられた
労働者：選挙権なし→チャーティスト運動

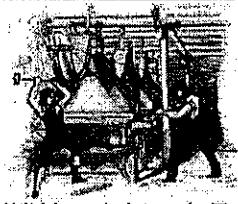
●労働者の実態

絵画から子供の様子や、町の印象を感じる

- ・生産体制の変化 (家族経営から資本家労働者の関係へ) に気づかせる
- ・資本家と労働者という上下関係や格差が生じていると気づく

(c) 学びに向かう力・人間性等

Q3-1, 彼らはどのような人で、なぜ機械を打ち壊しているのだろうか?



A, 手工業者、職人 (機械で安価に大量生産され、打撃を受けたから)

Q3-1の手順

- 1, 個人でワークシート記入 (1分)
- 2, ペアで意見共有 (1分)
- 3, 全体で共有、解説 (1分)

[ヒント] 機械を恨んでいるのは?
・結果、死傷者が発生した問題意識

(a) 知識・技能
(b) 思考力・判断力・表現力

・Pepper君、配膳ロボット、ルンバなどの写真から、身近なロボットの存在に気づく

・新技術に職を奪われるの、産業革命だけではないと感じさせる

Q3-2, ロボットに仕事を奪われるかも知れない現在、現代版ラダイト運動を起こさず、共存していくには?

A, ロボットにはできないことを見つける。人間にしかできない仕事をする。人の感情に寄り添う。ロボットにできる仕事を任せて、時間的な余裕を作る。

Q3-2の手順

- 1, 個人でワークシート記入 (2分)
- 2, ペアで意見共有 (3分)
- 3, 全体で共有、解説 (5分)

[ヒント]
人間にしかない良さは?
なぜロボットが作られたのだろう
人間のほうがいい仕事は?
ロボットのほうがいい仕事は?

(b) 思考力・判断力・表現力
(c) 学びに向かう力・人間性等

本時の振り返り、次回予告

・口頭で産業革命の流れを確認

I. 産業革命で変わる社会

産業革命の背景

- ①] は、②] 世紀の③] から始まる
- ・17世紀…海外進出が本格化、④] 獲得競争に勝利
- ・18世紀後半…国際貿易盛ん → 商工業者は⑤] 蓄積
- ・18世紀の農村…地主が農地拡大=⑥]
農場経営者、農業労働者を雇い、生産
土地を失って都市に流入した農民
→ 工場労働に必要な⑦] に
- ⑧] (新しい農法の採用や農機具の改良) による農業生産増大
→ 人口増を支える

産業革命の開始

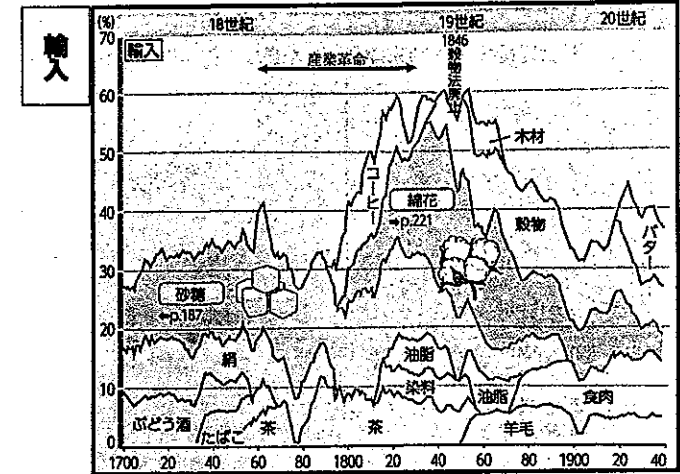
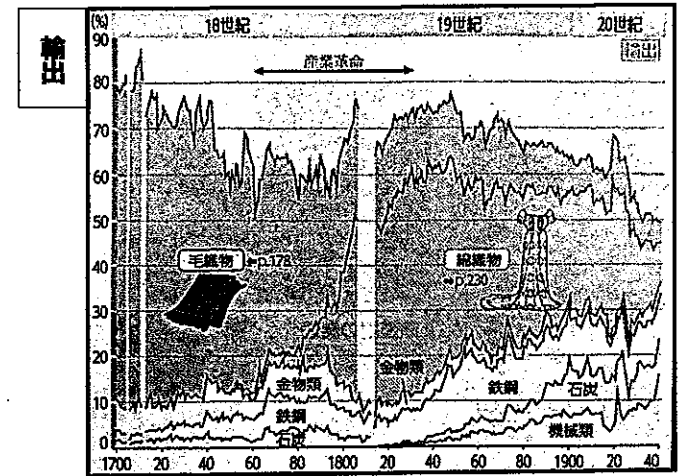
- ・⑨] (インドから輸入・需要増) の国内生産
- ・⑩] などの機械の発明 → 大量生産を実現
- ・⑪] が改良した蒸気機関
→ ⑫] と⑬] を引き起こす

資本主義社会の成立と出発

- ・⑭] …生産手段や資金を資本として所有、⑮] を雇う
- ・労働者…支払われた賃金で生活
→ 産業革命により⑯] のしくみが確立
- ・資本家の議会進出(例:1832年イギリスの⑰] 改正)
→ 各国で資本主義への転換、⑱] を旗印に主導
→ 労働者は⑲] 運動…男子普通選挙権を求める

労働運動と社会主義運動の発生

- ・労働問題の発生…⑳]
→ ㉑] の結成、労働運動の始まり
(イギリスでの改善)
1830年代以降 一連の㉒] …9歳未満の労働の禁止など
- ・資本主義の下での労働者の貧困 → ㉓] 思想の誕生
…生産活動の合理的で共同的な管理を提案
フランスの㉔]、イギリスの㉕])
- ・ドイツの㉖] とその友人エンゲルス『㉗])
労働者が政権奪取、㉘] 制度の廃止
生産手段の共有化 → ㉙] の理論に



【 考えてみよう③ 】 ～絵画から歴史を学び、今につなげよう～

【 考えてみよう① 】

Q,産業革命において、植民地はなぜ必要なのだろう？

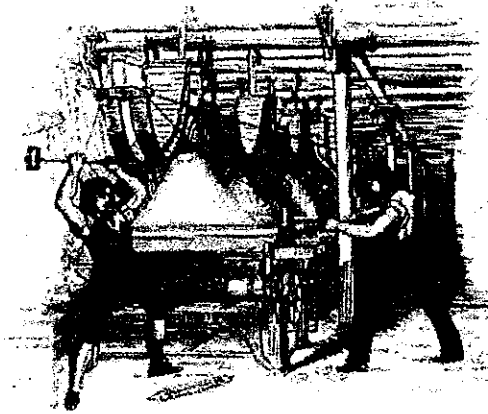
【 考えてみよう② 】

Q,製品を人力ではなく、機械で作るメリットは何だろう？

箇条書きで、たくさん書き出してみよう。

クラスで共有した意見を受けて、一文で書いてみよう。

Q1,彼らはどんな職に従事する人で、なぜ機械を打ち壊しているのだろうか？



Q2,人間が仕事を奪われるかも知れない現在、現代版ラダイト運動を起こさず、共存していくためにはどうすれば良いだろう？

自分の考え	ほかの人の考え